

令和2年度 第9回 津有区地域協議会 次 第

日時：令和3年3月22日(月) 午後6時30分～
会場：津有地区公民館 大会議室

延べ1時間5分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 協議事項

① 自主的審議について

【60分】

- 1) 町内会長との意見交換会について（振り返り）
 - ・ 会の運営・進行について

- ・ 津有区の課題について

- 2) 今後の進め方について

3 その他

(1) 次回開催日の確認等

【3分】

- 日時 : 4月 日 () 午後6時30分から
- 開場 : 津有地区公民館 大会議室
- 内容(案) : 自主的審議について、令和3年度の活動スケジュールについて、提案書受付状況について

(2) その他

4 閉 会

区分	手順 1 地域協議会委員だけで考えてみる		手順 2 調べる(聞く・見る)		手順 3 話し合っってテーマを決める	手順 4 テーマについて深掘りする
	地域協議会の意見 (R2.10~11 グループワーク等)		地域の方の意見 (R3.2.26 町内会長との意見交換会)		どんな取組があったらよいか? 審議の方向性	どうやって深掘りしていくか? 地域協議会での取組内容
			課題や特長	こんな取組があったらよい		
安心安全	防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・車上荒らし等の犯罪被害が多発しているため、各小学校や神社等に防犯カメラが必要ではないか。 ・PTA や町内会でパトロールや見守り活動を行っているが、もっと活発に行ってはどうか。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校に防犯カメラを設置してはどうか。設置することで安心して学校に通えるのではないか。(学校との調整やプライバシー保護の関係で可能かどうかは分からない) 	(例) 防犯カメラや防犯灯の設置 (例) PTA 及び町内の安全パトロールの強化	
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での災害対応は大丈夫か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ないため、防災意識が低いのではないか。 	—	(例) 防災意識の向上	(例) 避難所等の実態調査 (例) 町内会や防災士会との意見交換 (例) 防災訓練等の取組状況の把握 (例) 市の取組状況の把握
課題等	空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化のため高齢者の人数が増え、後継ぎのいない家が増えており、空き家の増加に繋がっている。(未婚の若者も多い。) ・後継ぎがいても地元に住んでいなかったり都会に行ってしまう等の状況で、今後空き家になる恐れのある家がたくさんある。(Uターンをしたくとも勤め先がない。) ・四ヶ所では住宅が密集しているため、今後空き家が増えた際、除雪や管理の問題が心配。 ・更地にするほうが費用も税金も多くかかる現在の制度自体が改善されなければ、空き家の減少には繋がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の所有者が県外にいるため、雪下ろしなどを地域でやらなければならない場合がある。 ・空き家が増加しており、雪下ろしや町内会費等の徴収の問題等、いろいろな面で支障をきたしている。 	—	(例) 空き家の活用・取り壊し (例) 空き家予防のための住民の意識啓発	(例) 空き家対策に関する市の取組や方針の把握 (例) 空き家の実態調査(町内で管理している空き家の数等)
	高齢化	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内に数軒は一人暮らしの方がいる。 ・一人暮らしの高齢者で家族が県外にいるという家が多いため、田畑の管理もできず、今後空き家となる恐れがある。今後もっと増加するのではないか。 ・平成町は今はいい、長い目で見ると、これからどんどん高齢者の一人暮らしが増えていくと懸念している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で高齢者を見守る仕組みや交通手段などを考えてほしい。 	(例) 地域全体で高齢者を見守る仕組みの構築	
		交通手段		<ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少なく、土日は運航していない路線もあるため、病院や買い物へ行く高齢者の交通手段がない。 		(例) 高齢者が利用しやすい交通手段の確保(公共交通「コミュニティ交通」の充実)
	田畑等の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により田んぼの維持管理が難しくなるため、今後の管理や委託の問題が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者のお宅や空き家は立木がそのままになっていたり、用水等の管理があり大変。 		(例) 担い手の確保	(例) 当事者ニーズ、状況等の確認 (例) 市の施策や取組状況の把握

自主的審議テーマ検討に関する意見と今後の方向性等

区分	手順1 地域協議会委員だけで考えてみる		手順2 調べる(聞く・見る)		手順3 話し合ってテーマを決める	手順4 テーマについて深掘りする
	地域協議会の意見 (R2.10~11 グループワーク等)		地域の方の意見 (R3.2.26 町内会長との意見交換会)		どんな取組があったらよいか?	どうやって深掘りしていくか?
			課題や特長	こんな取組があったらよい	審議の方向性	地域協議会での取組内容
課題等	町内会活動への参加・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳まで働いている人が多く、町内会の役員や行事への積極的な参加がない。しかし、一生懸命に参加する人もいるため、現在は町内会としての活動は成り立っている。 ・平成町は、住民同士の意識が希薄。イベントが少なく交流する機会が少ないことが原因の一つ。 ・平成町はアパートが多く、アパートの住人は、ただ町内会費を払っているだけであり、ほとんど町内活動には関与していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の行事はいくつか行っているがリーダーとなる人が少ないため、新しいことになかなか取り組めない。言い出しっぺがない。 	—	<ul style="list-style-type: none"> (例) 誰もが参加したくなるようなイベントの実施 (例) 後継者の育成 	(例) 地域活動団体との意見交換
	活動団体		—	<ul style="list-style-type: none"> ・北部地区はスポーツクラブなど盛んに活動している。南部地区は以前体育協会があったが、現在は活動していない。機会があれば津有地区全体でこういった活動をやってみてはどうか。 ・単独の町内で行事を行うことが難しい場合は、近隣の町内と合同で行うことも良いと思う。(本新保町内会では、ファームセンターに避難する3町内合同で防災訓練を行っている。) 		(例) 地域活動団体との意見交換
	後継者不足	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が地元に残らないため、青年会や消防団の担い手不足が今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人がいても、青年会や消防団など、後継者を育てる機会がない。 ・高齢化が非常に進んでいるため、地域力が低下して、役員のなり手等もない状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人材を育てる仕組みがあったらよいのではないか。 	(例) 後継者の育成	(例) 地域活動団体との意見交換
	少子化		<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が大変な問題で、どんどん子どもが減っている現状である。子どもが減ると、地域の行事等にも支障が出てくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少なく町内の行事を行うことが難しい場合は、近隣の町内と合同でやることを提案してもよいと思う。 		
若者の流出	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が地元に残らないのは、魅力的な仕事がないことが原因ではないか。 	—	—			

自主的審議テーマ検討に関する意見と今後の方向性等

区分	手順1 地域協議会委員だけで考えてみる	手順2 調べる(聞く・見る)		手順3 話し合ってテーマを決める	手順4 テーマについて深掘りする
	地域協議会の意見 (R2.10~11 グループワーク等)	地域の方の意見 (R3.2.26 町内会長との意見交換会)		どんな取組があったらよいか? 審議の方向性	どうやって深掘りしていくか? 地域協議会での取組内容
		課題や特長	こんな取組があったらよい		
大雪関係		<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の伝達方法として、有線のページング放送を流したが、有線が入ってない家や、入っていても聞き逃してしまった。また直接連絡を取るにも個人情報の関係で電話番号を教えてもらえない家などがあったため、緊急時の伝達方法についての課題が見られた。 家の雪を道路へ捨てる人もいた。 各地域には防災放送のアンテナがありマイクがついているが、大雪によりそこへも行けなかった。 	<p>【市への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の大雪に対する除雪体制が非常に悪かった。今後よく検討してほしい。 今回の大雪の除雪に関しては、防災無線をもっと活用すべきであった。 市道の除雪が間に合わないところもあるため、補完として農道の除雪もしてはどうか。 	(例) 緊急時に有効な伝達手段、仕組み	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 共働き夫婦の増加により、定時出発・定時帰りの保育園バスの利用が毎年減少していて、運営が心配。 	—	—	(例) 保育園バスの利用促進	
特長等	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 災害が少ない。 自然豊か。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害が少ない。 風光明媚な地域 広々とした田んぼの風景はとても美しいため、何としても残してほしい。 	—	
	景観	<ul style="list-style-type: none"> 花壇が整備されている。(戸野目・四ヶ所・平成町) 区画がしっかりと整備されているため、町並みの景観がよい。(戸野目・四ヶ所・平成町) 	—	<p>【市への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> もっと公園の管理をしてほしい。街路樹の枝が伸びてきているため切ってほしい。(平成町) 	
	生活	<ul style="list-style-type: none"> 保育園や小学校が近く、子育てしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 小さい町内では近所に親類や知り合いがおり、お互い気にして見に行ってくれるため、安心できる。 中学生の挨拶が非常によいため、朝会うと気持ちがよい。高校生もそれを引き継いでいる。 藤塚町内では、新しい団地と昔からの町内の方との交流が非常によい。 地理的に町に近くて、便利でよい。 今年の大雪の除雪の際には、自然に集まってみんなで助け合った。 	—	

裏面あり

自主的審議テーマ検討に関する意見と今後の方向性等

区分	手順1 地域協議会委員だけで考えてみる	手順2 調べる(聞く・見る)		手順3 話し合っってテーマを決める	手順4 テーマについて深掘りする
	地域協議会の意見 (R2.10～11 グループワーク等)	地域の方の意見 (R3.2.26 町内会長との意見交換会)		どんな取組があったらよいか? 審議の方向性	どうやって深掘りしていくか? 地域協議会での取組内容
		課題や特長	こんな取組があったらよい		
歴史・文化	・歴史的な偉人を輩出している。	・歴史的な偉人や遺跡がある。	・ぜひ地域全体で前島密を盛り上げたい。今の前島記念館は非常に敷地が狭くて、外には広場もトイレもなく、雨を避ける場所もないため、何とかしたい。 ・地域活動支援事業を活用するなどして、記念館の整備や顕彰活動を、地域全体として活発に行いたい。 【市への要望】 ・市全体として前島密を盛り上げてほしい。 ・名所巡りなど、市でも全面的にアピールしてほしい。 ・観光開発を進めてほしい。	(例) 前島密翁顕彰についての地域全体の機運向上 (例) 歴史や文化を売りしたイベントやツアー	(例) 地域活動団体との意見交換 (例) 雄志中学校区(津有区・高土区・諏訪区)の地域協議会との意見交換
地域活動	・空き家をリノベーションし、地域の憩いの場として活用している。(四ヶ所・戸野目)	—	—		
		・戸野目町内会では消防団のOBが、TF C (戸野目ファイヤーマンズクラブ) という会を作って、地域のために頑張っている。	—		
		・さいの神や夏祭り、自主防災訓練などの町内活動が活発に行われている。	—		
その他	・前期の地域協議会の資料を見ると、同じ課題が繰り返し議論されているような気がする。いつも同じような問題点が出ており、このままでよいのか。	—	—		
	・自分たちが解決することはできないと思うが、問題点について声を上げていくことが大事。	—	—	(例) 地域課題についての住民への意識啓発	(例) 地域協議会だよりの活用 (例) 地域住民との勉強会
	・地域として差し迫った課題は今のところない。ただ、これから少しずつ顕著化されると思う。	—	—		